

生活困窮からの脱出支援

浜松市浜北区役所社会福祉課 就労支援相談員

齋藤善彦（さいとう よしひこ）

心理学との出会い

建築設備の仕事をしていて私がなぜ心理学の勉強を始めたかですが、結婚後購入した分譲マンションで大規模修繕を平成12年に実施しその間委員長を引き受けたことがきっかけです。他のマンションから相談が持ちかけられるようになり、意見集約から技術的問題まで話を聞いて助言し、さらに多くの時間を取られるようになっていました。そうこうしている時、公民館主催の「コーチングの心理学」という講座を見つけたのです。

講師は磯部隆（元静岡英和学院大学短期大学部教授）先生でした。そこで会話や相談にはテクニックがあるということを知りました。その後磯部先生が会長である遠州カウンセリング研究会に参加することにしたのです。ここでのピアカウンセリングは現在まで貴重な経験となっています。それからいろいろな講座に参加し、その一方で団体を結成し住宅に関する講座や相談会を開催したり、NPO法人を設立したり、その設立や運営について相談員を担当したりしてきました。

また、放送大学に入学し8年後の平成26年3月に卒業、認定心理士を手に入れました。大学での実験や演習は実践での基礎知識としてとても大切なことだったと、今、思います。

ところで現在の仕事は就労支援

相談員です。これも話の続きとなります。平成25年3月に股関節を痛め、33年間勤めた事業所を退職しました。分譲マンションを買ったことがきっかけで心理学の勉強を始めたのですが、結果として今の仕事に就くことになり、その知識が生活の糧となっています。

週1回の継続的面接

就労支援相談員とは社会福祉事務所等に配置される職員で、生活保護者の中で就労稼働能力を有しながら就労の機会が得られない者または就労意欲の不十分な者などに対し就労支援を行い、自立を助長するため、就労支援プログラム実施要綱などに従って就労支援を行う者です。具体的には、就労に関する指導・助言、情報提供、職安等同行、その他です。同行以外には面接室での対話による支援となります。履歴書や面接などの指導や求人情報の提供を行うのですが、実際はそれ以外の事項つまりその他の部分の比重が大きいのです。

自立の助長とは、経済・日常生活・社会生活という三つの自立を目指すものであり、就労支援とはこの三つの自立とイコールです。つまり就職支援とは指す意味が違い、就労支援は対象者の人生の支援そのものです。生活リズムが整っている、健康を維持する、労

Profile—齋藤善彦

関東学院大学工学部建築設備工学科、放送大学教養学部心理と教育卒業。認定心理士、REBT心理士補、心理学検定1級。NPO法人静岡県マンション管理士会副理事長も兼任。2014年より現職。



カウンセリング研修会にて

働意欲を持つ、生きがいをを持つ、コミュニケーションが取れる、辛抱するなど、対象者の生活歴や職業歴を踏まえ、個人の思考や行動に対して心理的カウンセリングを行うことにはかかなりません。加えて対象者の中には精神的疾病を抱えている場合もあり、事例性の把握や医療につなげることも必要となります。

認定心理士の活躍の場

超高齢化・保険・税金等日本の生活環境は厳しくなる中で、就労支援やその前の段階の学業支援の分野において認定心理士の役割は重要です。キャリアに関する知識、労働法制・教育制度や支援機関・職業訓練等の幅広い知識が必要ですが、認定心理士は持てる能力を埋もれさせることなく、さらなるステップアップを目指し知識やカウンセリング技術を学び、またそれを発揮することにより、日本の未来に貢献できると確信します。